

令和5年7月調査 賃金実態調査報告書

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会

宇城久地域ビジネスサポートセンター
(宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会)

調査の実施要領

1. 調査の目的

宇治市・城陽市・久御山町内に所在する企業の賃金等の実態を把握することにより、労働環境の整備や雇用の確保、労使関係の改善など今後の企業経営の参考に供することを目的に実施した。

2. 調査対象および調査方法

「経営経済動向調査」の付帯調査として、宇治・城陽・久御山区域内に事業所（本店、支店、営業所等）を有する企業1000社に対して郵送による調査を行った。

3. 調査時点および調査時期

- 1) 調査時点：令和5年7月
- 2) 調査時期：①令和4年1月～令和4年12月の年間賃金
②令和4年12月に支払った賃金
③令和4年12月に支払ったパート等の時給

4. 調査の内容

- 1) 社員の賃金（役員、専従者等の家族従業員、パート・アルバイトを除く）
職種、性別、年齢、学歴、勤続年数、年間賃金、基本給および諸手当について
- 2) パート・アルバイトの賃金
職種、性別、年齢、勤続年数、時給について

5. 集計区分

業種別（8分類）、従業員規模別（4階層）、学歴別（4階層）に区分した。

6. 集計方法

全ての算出方法を単純平均とした。

7. 回答状況

有効回答企業 259社（回答率25.9%）であった。

1. 従業員所定内賃金等

①業種別平均賃金

〔表 1-1〕業種別平均賃金

区 分		集計 事務所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	令和 4 年 12 月の所定内賃金		年間賃金
						基本給	諸手当	
全業種 平均	男子	239 社	1,218 人	46 歳	14 年	277,871 円	42,926 円	4,572 千円
	女子		445	44	11	214,149	25,764	3,310
製造業	男子	112	758	46	14	287,420	41,933	4,696
	女子		254	43	12	218,495	27,053	3,439
卸売業	男子	12	29	45	17	283,726	68,450	5,610
	女子		10	48	18	221,407	11,644	2,636
小売業	男子	20	50	44	11	261,241	33,713	4,221
	女子		39	47	9	222,263	26,117	3,423
飲食業	男子	27	37	47	10	218,841	55,720	3,577
	女子		22	46	13	166,924	39,182	2,914
運輸・ 通信業	男子	9	69	57	13	257,019	63,294	3,901
	女子		6	43	9	164,262	10,177	2,063
建設・ 不動産業	男子	27	105	46	13	315,024	29,678	4,886
	女子		31	46	10	219,827	11,989	3,453
サービス 業	男子	15	42	42	14	240,098	79,705	4,882
	女子		25	43	13	199,000	35,900	3,251
その他 の業種	男子	17	55	51	13	221,550	32,385	3,343
	女子		34	47	11	222,835	11,172	2,848

〔G1-1〕12月所定内賃金の対前年比較

令和 4 年 12 月に支払われた基本給は、全業種平均で男子 277,871 円（46 才、勤続 14 年）、女子 214,149 円（44 才、同 11 年）。諸手当については、業種平均で男子 42,926 円、女子 25,764 円であった。

また、令和 4 年 1 月～12 月の間に支払われた年間賃金（所定外賃金・賞与含む）は、全業種平均で男子 4,572 千円、女子 3,310 千円となっている。

基本給を業種別にみると、男子では建設・不動産業 315,024 円（46 才、同 13 年）が最も高く、次いで、製造業 287,420 円（46 才、同 14 年）、卸売業 283,726 円（45 才、同 17 年）の順で、女子はその他の 222,835 円（47 才、同 11 年）が最も高く、次いで、小売業の 222,263 円（47 才、同 9 年）、卸売業の 221,407 円（48 才、同 18 年）となっている。

前年と比較すると、基本給と諸手当が男女とも減少しており、残業手当や賞与を含めた年間賃金は、男子はほぼ横ばいで推移し、女子は 4 年連続で増加していたが、今年度は減少に転じた。



②規模別平均賃金

〔表 2-1〕 規模別平均賃金

区 分		事業 所数	全従業員 平均賃金		従業員 1～19人		従業員 20～49人		従業員 50～99人		従業員 100人以上	
全業種 平均	男子 女子	社	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
		239	1,218	314,885	530	318,685	331	313,451	163	299,585	193	321,016
			445	235,442	152	197,903	127	247,061	81	242,688	85	277,997
製造業	男子	112	758	324,005	327	322,927	219	307,162	89	315,551	123	362,839
	女子		254	241,674	73	200,680	74	240,393	51	262,453	56	277,861
卸売業	男子	12	29	340,032	10	335,924	1	xx	18	342,092	0	xx
	女子		10	209,746	4	188,643	4	211,723	2	248,000	0	xx
小売業	男子	20	50	284,504	5	155,200	25	340,687	12	218,833	8	288,250
	女子		39	247,041	3	68,333	18	250,477	6	221,500	12	299,333
飲食業	男子	27	37	262,513	8	294,000	10	219,530	5	273,554	14	271,279
	女子		22	198,642	6	92,000	5	238,600	7	210,056	4	262,025
運輸・ 通信業	男子	9	69	320,313	13	353,962	15	394,220	20	326,332	20	248,007
	女子		6	174,440	2	90,000	0	xx	3	245,567	1	xx
建設・ 不動産業	男子	27	105	332,701	71	339,399	34	319,501	0	xx	0	xx
	女子		31	223,951	22	203,995	9	272,733	0	xx	0	xx
サービ ス業	男子	15	42	306,495	26	298,877	16	318,875	0	xx	0	xx
	女子		25	226,940	17	209,441	8	264,125	0	xx	0	xx
その他 の業種	男子	17	55	252,758	26	269,069	0	xx	19	214,225	10	283,560
	女子		34	232,364	12	225,402	0	xx	12	186,713	10	295,500

(注1) 表示されている規模別平均賃金は所定内賃金(基本給に諸手当を加えたもの)。

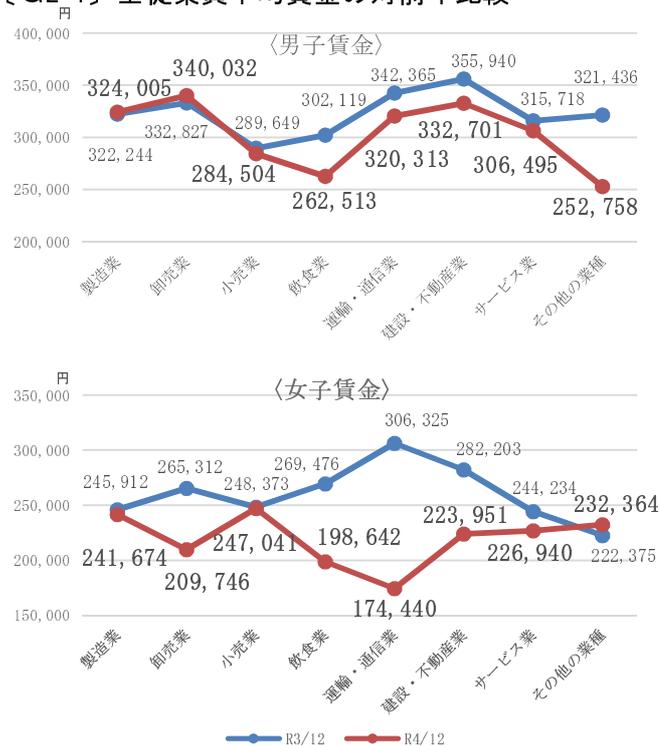
(注2) データが1名以下の区分については“××”を表示している。

(注3) 従業員数が未回答の場合は母数から省いた為、業種別集計人数と規模別集計人数は異なる。

令和4年12月に支払われた所定内賃金(基本給に諸手当を加えたもの)の規模別平均賃金を業種別で見ると“従業員1～19人”区分の賃金が“全従業員平均賃金”を上回ったのは、男子では飲食業、運輸・通信業、建設・不動産業、その他の4業種、女子ではなかった。“従業員20～49人”区分では、“全従業員平均賃金”を上回ったのは、男子では小売業、運輸・通信業、サービス業の3業種、女子では卸売業、小売業、飲食業、建設・不動産業、サービス業の5業種となった。

一方、“全業種平均”の賃金を“従業員1～19人”区分の賃金が上回った業種は、男子では製造業、卸売業、運輸・通信業、建設・不動産業の4業種、女子では製造業、建設・不動産業、サービス業、その他の4業種となった。

〔G2-1〕 全従業員平均賃金の対前年比較



③年齢別平均賃金

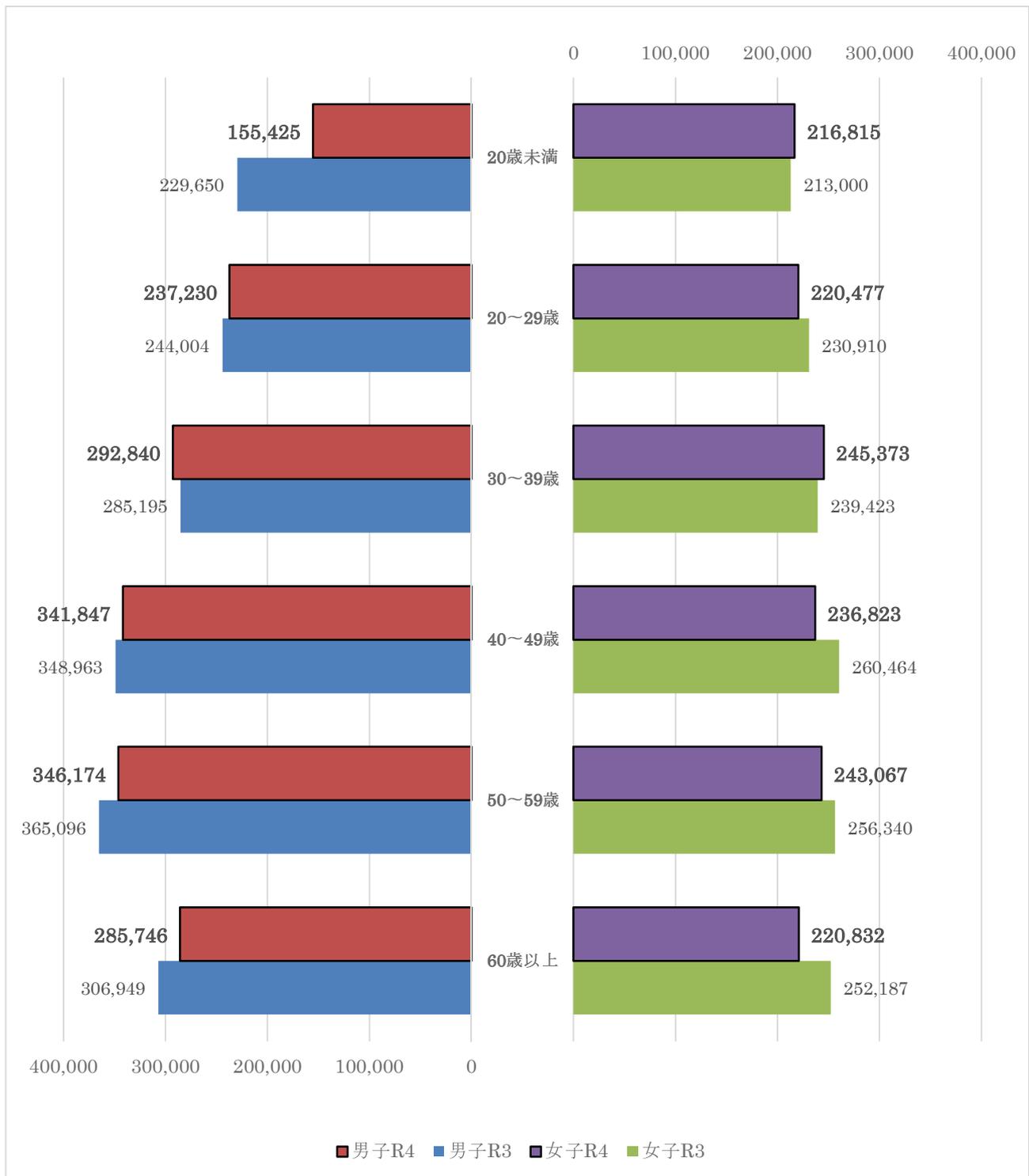
〔G3-1〕年齢別平均賃金

(男子)

(年齢)

(女子)

[単位:円]



(注) 表示されている年齢別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

令和4年12月に支払われた所定内賃金を年齢別で見ると、男子では50~59歳まで年齢に比例した増加がみられ、女子では30~39歳が最も高く年齢によりばらつきがみられる。また前年データと比較すると、男子の20歳未満が大幅に減少した他は、男女ともに大きな変化はなく、増加したのは30~39歳の男女と20歳未満の女子のみであった。

④学歴別平均賃金

〔表 4-1〕学歴別平均賃金（年齢区分別）

区 分		全学歴平均		高卒		短大・専門卒		大学・大学院卒		その他	
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
20歳未満	男子	4	155,425	4	155,425	0	xx	0	xx	0	xx
	女子	5	216,815	2	230,478	0	xx	0	xx	0	xx
20～29歳	男子	127	237,230	55	236,518	15	252,742	47	233,770	8	241,062
	女子	71	220,477	21	225,772	21	200,386	28	232,937	0	xx
30～39歳	男子	233	292,840	94	284,501	25	259,639	92	302,776	15	341,083
	女子	75	245,373	22	248,026	12	237,319	33	238,627	6	286,649
40～49歳	男子	351	341,847	159	330,064	71	318,590	104	379,971	9	297,619
	女子	128	236,823	47	235,966	47	217,844	28	267,096	2	288,949
50～59歳	男子	341	346,174	199	335,715	47	338,025	70	385,320	18	325,452
	女子	119	243,067	65	240,409	30	249,417	19	245,961	4	262,574
60歳以上	男子	162	285,746	88	287,419	10	220,698	45	276,516	12	317,650
	女子	47	220,832	18	285,036	15	168,173	9	205,539	2	45,000

（注1）表示されている学歴別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

（注2）データが1名以下の区分については“××”を表示している。

（注3）学歴が未回答の場合は母数から省いた為、全学歴集計人数と学歴別集計人数は異なる。

〔表 4-2〕学歴別平均賃金（勤続年数区分別）

区 分		全学歴平均		高卒		短大・専門卒		大学・大学院卒		その他	
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
10年未満	男子	507	275,520	225	265,556	70	262,732	176	292,717	24	238,729
	女子	229	223,424	82	225,907	56	205,928	78	236,682	7	214,258
10～19年	男子	387	321,977	193	309,427	63	326,208	102	342,623	16	349,899
	女子	135	250,578	54	249,247	46	237,867	26	265,426	5	331,756
20～29年	男子	199	384,727	105	365,583	21	349,590	57	444,659	11	346,145
	女子	51	276,315	25	284,646	15	223,966	7	350,566	0	xx
30～39年	男子	87	371,447	54	364,130	10	400,888	12	356,862	10	386,095
	女子	19	250,851	12	268,133	4	279,088	2	90,000	1	xx
40年以上	男子	38	268,669	22	337,086	4	175,878	11	144,455	1	xx
	女子	11	84,043	2	81,000	4	87,500	4	100,619	1	xx

（注1）表示されている学歴別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

（注2）データが1名以下の区分については“××”を表示している。

（注3）学歴が未回答の場合は母数から省いた為、全学歴集計人数と学歴別集計人数は異なる。

⑤職種別平均賃金

〔表 5-1〕 職種別平均賃金

区 分		集計 事務所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	令和 4 年 12 月の所定内賃金		年間賃金
						基本給	諸手当	
全業種 平均	男子	239 社	1,218 人	46 歳	14 年	277,871 円	42,926 円	4,572 千円
	女子		445	44	11	214,149	25,764	3,310
事務職	男子	-	114	49	16	314,759	42,014	5,408
	女子		193	46	12	223,931	21,314	3,490
営業職	男子	-	165	46	14	321,690	46,805	5,206
	女子		42	44	9	210,924	34,419	3,266
現場職	男子	-	900	46	13	265,435	42,105	4,318
	女子		201	43	11	204,643	27,785	3,091
管理職	男子	-	234	50	20	377,799	62,540	6,098
	女子		53	49	17	252,326	46,729	4,176

(注 1) 職種が未回答の場合は母数から省いた為、全業種集計人数と職種別集計人数は異なる。

基本給を職種別にみると、男子では営業職が最も高く 321,690 円 (46 才、勤続 14 年)、女子では事務職で 223,931 円 (46 才、同 12 年) となった。諸手当が最も高い職種はともに営業職で、男子が 46,805 円、女子が 34,419 円となった。

また、管理職では男女間で平均年齢や平均勤続年数にあまり差がなくても、基本給・諸手当・年間賃金全ての項目で、大きな差があることがわかる。

⑥地域別平均賃金

〔表 6-1〕 地域別平均賃金

区 分		集計 事務所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	令和 4 年 12 月の所定内賃金		年間賃金
						基本給	諸手当	
全業種 平均	男子	239 社	1,218 人	46 歳	14 年	277,871 円	42,926 円	4,572 千円
	女子		445	44	11	214,149	25,764	3,310
宇治市	男子	121	538	47	14	281,974	48,440	4,509
	女子		234	44	11	220,955	25,545	3,339
城陽市	男子	92	417	44	13	269,492	35,059	4,428
	女子		143	44	11	206,193	23,570	3,233
久御山町	男子	46	263	47	15	282,780	44,123	4,934
	女子		68	45	14	207,187	32,129	3,374

基本給を地域別にみると、男子では久御山町が最も高く 282,780 円 (47 才、勤続 15 年)、女子では宇治市で 220,955 円 (44 才、同 11 年) となった。諸手当が最も高い地域は、男子では宇治市の 48,440 円となり、女子では久御山町の 32,129 円となった。

年間賃金を地域別にみると、男女とも久御山町が最も高く、男子は 4,934 千円、女子は 3,374 千円となった。

2. パート社員等時給額

①業種別パート社員等平均時給額

〔表 7-1〕 業種別パート社員等平均時給額

区分	平均時給額		対前年 時給額 伸び率	最高時給額		
	事業所数	パート数			R4	R3
全業種平均	127 社	635 人	1,050 円	1,030 円	1.94 %	— 円
製造業	60	301	1,072	1,040	3.08	3,050
卸売業	4	26	1,055	981	7.54	1,394
小売業	10	48	1,007	982	2.55	1,420
飲食業	17	96	978	981	▲0.31	1,310
運輸・通信業	5	33	1,011	1,051	▲3.81	1,200
建設・不動産業	8	17	1,242	1,368	▲9.21	1,600
サービス業	6	28	1,031	1,021	0.98	1,350
その他の業種	9	45	1,077	1,019	5.69	1,600

(注1) 令和3年10月1日以降の京都府の最低賃金(時間額、産業別最低賃金が定められている業種を除く)は937円。

(注2) 令和4年10月9日以降の京都府の最低賃金(時間額、産業別最低賃金が定められている業種を除く)は968円。

令和4年12月に支払われたパート社員等の平均時給額は、昨年から1.94%増加し全業種平均で1,050円となっている。

業種別に見ると、平均時給額は建設・不動産業の1,242円が最も高く、次いで、その他が1,077円、製造業が1,072円、卸売業が1,055円、サービス業が1,031円、運輸・通信業が1,011円、小売業が1,007円となった。最も低いのは飲食業で978円となっており、最低賃金より10円(注2)高い水準となっている。

また、業種別の対前年時給額伸び率をみると、卸売業が+7.54%と大きな伸びを見せており、次いでその他が+5.69%、製造業が+3.08%、小売業が+2.55%、サービス業が+0.98%の5業種が伸びている。一方で、建設・不動産業が▲9.21%、運輸・通信業が▲3.81%、飲食業が▲0.31%と3業種が減少している。

②地域別パート社員等平均時給額

〔表 8-1〕 地域別パート社員等平均時給額

区 分	平均時給額		対前年 時給額 伸び率	最高時給額		
	事業所数	パート数			R4	R3
全業種平均	127 社	635 人	1,050 円	1,030 円	1.94 %	— 円
宇治市	55	289	1,034	1,025	0.88	3,050
城陽市	48	249	1,066	1,008	5.75	2,063
久御山町	24	90	1,060	1,090	▲2.75	1,960

地域別でみると、城陽市の平均時給額が最も高く1,066円、次いで久御山町が1,060円となっており、最も低い宇治市でも1,034円と、3地域全てで前年に続き1,000円を上回っている。

対前年の時給額伸び率では、城陽市が5.75%と大きく増加し、久御山町が▲2.75%と減少する結果となった。